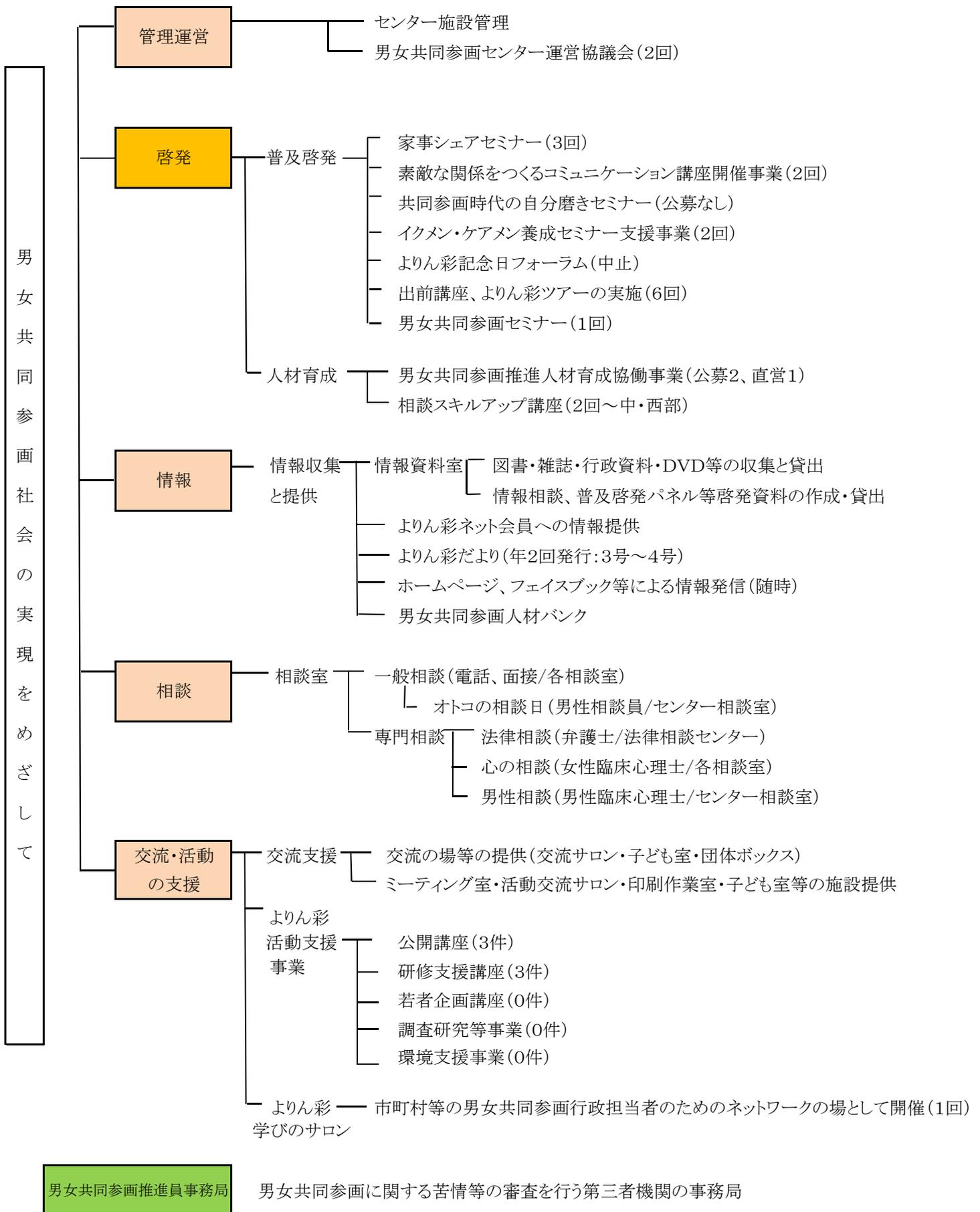


Ⅱ 事業概要

1 令和2年度事業の概要

(1) よりん彩の事業体系図(令和2年度実績)



(2)よりん彩施設月別利用者数

区分	交流サロン	ミーティング室	印刷作業室	子ども室	相談室	計
4月	422	21 (4)	9	94	5	551
5月	554	4 (1)	4	66	3	631
6月	965	16 (3)	12	161	12	1,166
7月	1,181	24 (5)	15	209	10	1,439
8月	1,185	24 (5)	10	180	7	1,406
9月	1,105	40 (8)	14	189	11	1,359
10月	1,055	24 (6)	8	164	14	1,265
11月	1,113	40 (8)	14	202	8	1,377
12月	833	52 (7)	5	130	10	1,030
1月	809	17 (4)	17	102	12	957
2月	1,051	44 (8)	16	154	15	1,280
3月	879	33 (8)	16	166	9	1,103
合計	11,152	339 (67)	140	1,817	116	13,564

(注)「ミーティング室」欄の()書きは、団体数。

(3)よりん彩施設年度別利用者数

男女共同参画社会の形成に関する情報や研修資料等を提供し、男女共同参画に関する様々な相談を受けるとともに、男女共同参画活動を行う団体や個人の活動拠点として、よりん彩の施設・設備を提供している。

区分	交流サロン	ミーティング室	印刷作業室	子ども室	相談室	計
H14年度	14,154	1,278 (168)	1,010	2,144	202	18,788
H15年度	19,119	1,321 (201)	1,075	2,943	257	24,715
H16年度	18,326	1,595 (257)	1,219	3,653	246	25,039
H17年度	14,691	1,771 (324)	1,440	4,204	232	22,338
H18年度	15,515	1,994 (258)	1,459	4,304	253	23,525
H19年度	15,726	2,135 (210)	1,000	4,102	248	23,211
H20年度	17,274	2,258 (312)	1,023	4,203	243	25,001
H21年度	16,289	1,960 (298)	714	4,487	255	23,705
H22年度	17,789	1,726 (261)	665	5,221	177	25,578
H23年度	17,713	1,926 (357)	870	5,195	184	25,888
H24年度	11,364	1,712 (269)	785	4,271	150	18,282
H25年度	12,624	1,520 (246)	763	4,557	207	19,671
H26年度	13,637	1,245 (159)	267	4,566	217	19,932
H27年度	13,535	1,050 (174)	241	4,213	185	19,224
H28年度	10,002	856 (114)	209	2,898	170	14,135
H29年度	13,376	1,237 (175)	268	4,719	176	19,776
H30年度	13,558	982 (152)	186	4,856	112	19,694
R1年度	15,951	1,016 (153)	206	4,622	127	21,922
R2年度	11,152	339 (67)	140	1,817	116	13,564
累計	281,795	27,921 (4,155)	13,540	76,975	3,757	403,988
年度平均	14,831	1,470 (219)	713	4,051	198	21,263

(注)「ミーティング室」欄の()書きは、団体数。

(4) 講座・セミナー等参加者数

講座・セミナー等の参加者 …… 延べ 1,088人

○普及啓発	630人
①よりん彩記念日フォーラム（中止）	
②共同参画時代の自分磨きセミナー（未実施）	
③素敵な関係をつくるコミュニケーション講座（2回）	45人
④家事シェアセミナー（3回）	135人
⑤イクメン・ケアメン養成セミナー支援事業（2回）	27人
⑥男女共同参画セミナー（1回）	423人
○人材育成	257人
①男女共同参画推進人材育成協働事業（3回）	218人
②相談スキルアップ講座（2回）	39人
○よりん彩活動支援事業	201人
公開講座（3回）	147人
研修支援講座（3回）	54人

(注)各講座・セミナーの開催チラシ等を「Ⅲ資料」に掲載

年度別講座・セミナー等参加者数(単位:人)

平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
6,170	5,965	5,336	4,259	7,242	4,388	3,908	2,620	3,297	4,568	5,052

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	累計	年平均
3,983	3,209	2,781	2,946	3,068	3,831	2,927	3,609	1,088	80,247	4,012

2 普及啓発事業実施状況

(1) よりん彩記念日フォーラム2020 (※中止)

平成13年4月1日の「よりん彩」開設を記念して、県民で組織する実行委員会とよりん彩が共催でフォーラムを開催して、男女共同参画推進に関する気運を高め、併せて活動拠点としての「よりん彩」を広く県民に周知する場とする予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

開催日	令和2年6月27日(土) 午前10時～午後3時45分
会場	よりん彩 及び 倉吉未来中心 (アトリウム、小ホール、セミナールーム3)
予定していた内容	<p>【集客イベント】</p> <p>アトリウムステージイベント 10:10～11:50 吹奏楽演奏 倉吉北高校吹奏楽部 コーラス 小鴨歌のクラブ「ぶち・カナル」 ひまわり倶楽部コンサート ひまわり倶楽部</p> <p>アトリウム 10:00～13:00 おもちゃ屋SUN ひまわり倶楽部 手話とクイズでスタンプラリー 鳥取県中部手話サークル連絡協議会</p> <p>食のよりん彩 10:00～13:00 弁当(倉吉北高校)、学校で作成した展示物(倉吉養護学校)、 ケーキ、お菓子類、ハンバーガー、コーヒー等の販売</p> <p>パネル展示 10:00～13:00 鳥取県統計調査委員会、鳥取県人権同和対策課、ウオーキングクラブ未来、 倉吉地区更生保護女性会、鳥取友の会、とっとり県消費者の会</p> <p>【よりん彩共催イベント】</p> <p>講演会 13:45～15:45 <演題>キッチンから始まる家族の絆 <講師>コウケンテツさん(料理研究家) ※11月に延期</p>

(2) 共同参画時代の自分磨きセミナー[※未実施]

男女共同参画推進の理解者の裾野拡大を図るために、民間の発想、専門性、経験、ネットワークの活用を目的に民間団体に企画運営を委託する講座（公募）を実施するもの。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって県内の団体・グループ等が講座の開催を控える傾向にあり、応募期間を12月末まで延長したが応募はなく、未実施となった。

<成果>

- ・該当なし

<課題>

- ・「共同参画時代の自分磨きセミナー」及び「男女共同参画推進人材育成協働事業（委託講座）」を効率的に実施（募集・選考を統一）するとともに、分かりやすい事業名に変更するなど工夫する必要がある。併せて、一事業あたりの委託料を変更するなど、多くの参加者が見込め事業効果が高まるよう見直しが必要である。

(3) 素敵な関係をつくるコミュニケーション講座[2企画]

固定的役割分担意識を背景とした課題の解決に向け、家庭をはじめとする様々な人間関係におけるコミュニケーションの大切さや課題解決の鍵を学ぶため、よりん彩直営講座として「素敵な関係をつくるコミュニケーション講座事業」を実施した。

	開催日 会場	テーマ	講師	参加者
1	12月17日(木) 13:30~15:00 鳥取県立図書館 :鳥取市尚徳町	「ほめる達人への道」	川内リョウさん (ほめる達人認定講師)	21人
2	12月18日(金) 10:00~11:30 米子コンベンション センター :米子市末広町	「ほめる達人への道」	川内リョウさん (ほめる達人認定講師)	24人

<成果>

- ・ほめる達人認定講師の川内リョウさんを講師に招き、「ほめる達人への道」と題して、家族や職場で活かせる『ほめ方』を分かりやすく示していただいた。悪天候で欠席者が多かったものの、日頃からコミュニケーションへの不安や悩みを抱えている方もおられ、参加者の満足度も高く、学びの多い時間になった。また男性の参加も多かった。「ほめられたことがあまりなく、ほめ方がわからなかった。でも『ありがとう』なら言えると思った。子どもに少しでも多くほめてあげられるようになりたいと思った。」「自分の気付かなかった点に気づきました。近くの人と話せて楽しかったです。」などの感想が寄せられ、参加者にとって大変有意義なセミナーになった。

<課題>

- ・今必要とされる講座、注目されている事項などを取り上げ、参加しやすくなる工夫が引き続き必要である。
- ・参加人数の少ない講座については、期日、開催場所、内容等を検討していく必要がある。
- ・今回は男性の参加者も多く、引き続き男性を引き込むような講座の内容、広報の仕方を考えていく。

(4) 家事シェアセミナー[3企画]

「女性活躍推進法」の施行により職業生活における女性の活躍に注目が集まる中、共働き世帯もますます増えていくことが予想される。

女性の活躍を応援し、女性だけでなく男性にとっても暮らしやすい豊かで活力のある男女共同参画社会を実現するため、共に助け合える夫婦（パートナー）になる一歩を踏み出すことを目指した「家事シェア」についてセミナーを実施した。

新型コロナウイルスの影響を受け、5企画実施予定が3企画となった。

	開催日 会場	テーマ	講師	参加者
1	8月1日(土) 13:30~15:00 米子コンベンション センター ：米子市末広町	暮らしをもっと楽しむための時短家事 ～家族のチーム力アップをめざそう～	野間 和美 さん (時短家事コーディネーター)	3家族 +4家族計 17人
2	8月2日(日) 10:00~11:30 倉吉未来中心 ：倉吉市駄経寺町	暮らしをもっと楽しむための時短家事 ～家族のチーム力アップをめざそう～	野間 和美 さん (時短家事コーディネーター)	
3	11月14日(土) 13:00~15:00 倉吉未来中心 ：倉吉市駄経寺町	「キッチンからはじまる家族の絆」	コウケンテツ さん (料理研究家)	118人

〈成果〉

- ・セミナー1及び2は、講師に時短家事コーディネーター 野間和美さんを招き、「暮らしをもっと楽しむための時短家事～家族のチーム力アップをめざそう～」と題して、親と子どもと一緒に参加するセミナーを開催した。時短掃除道具の紹介、名もなき家事の話、家事（掃除）シェアについて分かりやすく示していただいた。
参加者アンケートでは、「『家事は母から子へ』ということを改めて気づかされた。ここを親（父と母）から子へとしていきたいとも思った。」「大きな家事だけでなく見えない家事を頼むのも大事だと思った。子どもも取り組みやすい。」などの感想があった。
- ・セミナー3は、講師に料理研究家 コウケンテツさんを招き、「キッチンからはじまる家族の絆」と題して、『日本の家事や料理作りは、やっても褒められない！やらないと文句を言われる究極に理不尽な作業！』とした上で、自身の体験も交えながら、家事や食事作りに日々疲れている方々の心が軽くなる内容で、性別に関係なく幅広い層が参加することができて満足度も高く、楽しく学ぶことができる講演となった。
参加者アンケートでは、男性からは、「自分や妻が穏やかになるように手抜きしても良い。」「まずは食卓の整理から。」「家事分担をして楽しく。」などの感想が寄せられ、女性からは、「サンシャイン（自分が輝くこと）を大事にしたい！気持ち楽になった！」「今日のセミナーでさらに料理や家事の心構えが変わるような気がします。」「自分のことも大切にしながら家事するというのは興味深かったです。」などの感想が寄せられた。

〈課題〉

- ・親子で参加するセミナーでは、両親と子どもの参加も1組あったが、圧倒的にお母さんと子どもの参加が多く、性別役割分担意識が背景にあるように感じた。
- ・男性に限定しなければ、男性参加率が低くなってしまう。引き続き、男性に限定しなくても男性を引き込むようなセミナーの内容、広報の仕方を考えていく必要がある。
- ・著名な方で「食」の話だと男女共同参画にあまり関心のない方にも敷居が高くなく、男性の参加率もかなり高かった。男性、女性関係なく興味関心がある分野や、「食」「介護」「子育て」関連のセミナーを企画していきたい。

(5) イクメン・ケアメン養成セミナー支援事業[2回]

子育て世代であり、これからの男女共同参画を支える主体となる有職男性層に対して、家庭における協働の具体的なイメージを持ってもらい、職場における男性の家庭生活への参画の機運醸成を図るために、県内の企業・経済団体等が開催する家事・育児・介護等に関する社内研修へ講師を派遣した。

	開催時期 会場	テーマ及び講師	主催者	参加者
1	8月18日(火) 14:00~15:10 鳥取県建設技術センター(倉吉市)	イクメン・ケアメン、働き方改革セミナー 〔講師〕佐藤淳子さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン中国)	(公財)鳥取県建設技術センター	27人
2	8月24日(月) 14:00~15:10 鳥取県建設技術センター(倉吉市)			

<成果>

・土木・建設業の関連法人において、イクメン・ケアメンや働き方改革に関するセミナーを開催した。参加者からは、「自ら実践してみようと思った」「育児・介護制度がいろいろ変わっている事が分かった」「家庭内コミュニケーションが大切」等の感想が出るなど、職場における男性の家庭生活への参画の機運醸成につながる講座となった。

・その一方で、コロナ禍の影響によって県内の企業等が社内研修の開催を控える傾向にあり、例年の実績を大きく下回る2回の開催にとどまった。

<課題>

・今後も特に土木・建設業のように男性の従業員比率が高い企業へ事業の実施を働き掛けていく必要がある。

・コロナ禍においても活用しやすい事業とするため、現地派遣のみならず、オンラインでの社内研修・セミナー等の開催も対象とするなど工夫する必要がある。

(6) 男女共同参画セミナー [1企画]

男女共同参画推進員令和元年度第1号申出にかかる意見公表を受け、県職員、教職員、市町村職員等の行政職員に対し、固定的性別役割分担意識をテーマとした研修を実施した。

普段、身近にあるのに気づかないジェンダーについて学び、性別によって無意識のうちに役割を分担していることが、男女間の不平等につながっていることを知り、また、性別にとらわれない生活、労働をすることで長時間労働の是正、働き方の見直しを推進することを目的として開催した。

	開催日 会場	テーマ	講師	参加者
1	12月3日(木) 13:30~15:30 倉吉未来中心 倉吉市駄経寺町 212-5	「炎上CMでよみとくジェンダー論」	瀬地山 角さん (東京大学教授)	423人 〔うち動画視聴 270人〕

<成果>

・過去に炎上したCMを取り上げながらジェンダーについてわかりやすく講演をしていただいた。感想にも「わかりやすい内容だった」「家庭、職場などでの性差別について面白い話で学ぶことができ理解が深まった」などの感想が多かった。

・動画配信による視聴も多数あり、より多くの行政職員に普及啓発を図ることができた。

<課題>

・根強く残る性別による固定的役割分担意識など男女共同参画社会形成の阻害要因についてジェンダーの視点から理解を深める啓発は、今後も継続的に繰り返し行っていく必要がある。

(7) 出前講座、よりん彩ツアーの実施状況

自治会、PTA、行政機関、企業等に男女共同参画センターよりん彩職員が出向き、男女共同参画の推進に関する研修、講座等を実施することで啓発を行った。

期日	曜日	時間	内容(テーマ)	対 象	参加人数
7月6日	月	14:45～15:35	男女共同参画に関する人権問題	赤碕中学校1年生	10
9月11日	金		「ハッピーライフ&ハッピーワーク～幸せ創生物語～」	倉吉市みどり町住民	190
10月27日	火	14:10～15:20	男女共同参画社会の実現に向けて	鳥取中央育英高校2年生	160
11月5日	木	13:55～14:40	男女平等と人権について学ぼう	浦安小学校6年生	40
11月25日	水	13:40～14:25	ともに生きる～一人一人」が大切にされる社会を目指して～	上灘小学校6年生	15
3月9日	火	11:00～12:00	鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会	とっとり花回廊職員	100
合計(6回)					515

3 人材育成事業実施状況

(1) 男女共同参画推進人材育成協働事業

男女共同参画を推進するキーパーソンとなる人材を育成するために、知識やスキルなどの向上を目的とした様々なテーマの講座を開催した。

民間団体に企画運営を委託して実施する委託講座（公募）を2講座、よりん彩の直営講座を1講座、合計3講座を実施した。

<委託講座（公募）>

	開催時期 会場	テーマ	主催者	参加者
1	11/28(土) 13:00~16:00 岩美町中央公民館いわみん ホール(岩美町)	上野千鶴子さん講演会「ジェンダー」ってなあ に？ 〔講師〕上野千鶴子さん(東京大学名誉教授) ※新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する ため、急遽オンライン開催に変更	ポンフィティの会	152人
2	12/5(土) 13:00~17:00 12/6(日) 9:00~15:00 2/23(火) 10:00~12:30 倉吉未来中心等(倉吉市)	ジェンダー学習のネクスト・ステップへ 社会をかえるための参加型プログラムづくり 〔講師〕栗本敦子さん(Facilitator's LABO) ※12/5~6はプログラムづくり、2/23はプロ グラム体験を実施	みーふあいゆー	37人

<直営講座>

開催時期 会場	テーマ及び講師	参加者
2/28(日) 13:30~15:30 米子コンベンションセ ンター(米子市)	コロナ禍の中の社会で考える男女共同参画 〔講師〕片岡佳美さん(島根大学法文学部教授)	29人

<成果>

- ・男女共同参画を推進するための知識やスキルなどの向上を目的とした様々なテーマの講座を実施することが出来た。
- ・参加者から「ジェンダーについて本質的に分かった気がする」「若いながらにこの講座に参加したからにはしっかり活かしていきたい」等の感想が出るなど、男女共同参画を推進するキーパーソンとなる人材の育成につながる講座となった。
- ・その一方で、コロナ禍の影響によって県内の団体・グループ等が講座の開催を控える傾向にあり、応募期間を12月末(当初8月末)まで延長したが、委託講座は例年の実績を下回る2回の開催にとどまった。(急遽オンライン開催に変更した事例あり)

<課題>

- ・男女共同参画人材バンクのあらたな登録につなげるなど、男女共同参画を推進するキーパーソンとなる人材の育成について、より実効性のある取組が求められる。
- ・直営講座については、委託講座で実施されない内容を企画するなど、現状の課題に即した講座を実施する必要がある。

(2) 相談スキルアップ講座

多様化する相談内容に適切に対応していくためには、相談スキルの向上と併せて様々な視点や考え方を学び続ける必要がある。相談業務・支援業務に関わる相談員、担当者等に対して、男女共同参画の視点を踏まえて相談業務の質の向上を図るための講座を実施した。

令和2年度は、コロナ禍において問題がより顕在化した家族等の「コミュニケーション」をテーマにした講座を2講座開催した。（東部会場については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ中止）

	開催日 会場	テーマ及び講師	参加者
1	7/29(水) 13:30~15:30 倉吉未来中心（倉吉市）	家族のコミュニケーション 〔講師〕北野真由美さん（NPO法人えんばわめんと塚）	20人
※ 中 止	8/28(金) 13:30~15:30 とりぎん文化会館（鳥取市）	夫婦（パートナー）のコミュニケーション 〔講師〕吉岡俊介さん（オフィスよしおか） ※新型コロナウイルスの状況を踏まえ中止	—
2	9/17(木) 13:30~15:30 米子市文化ホール（米子市）	職場のコミュニケーション 〔講師〕高山直子さん（カウンセリング&サポートサービスN）	19人

<成果>

- ・相談等に役立つ今日的で実践的な内容の講座を実施することができた。
- ・参加者から、「一人一人が尊重される家族のコミュニケーションを心がけて相談対応していきたい」「具体的なスキル、内容がとても勉強になった」等の感想が出るなど、男女共同参画の視点を踏まえて相談業務の質の向上を図るための有意義な講座となった。

<課題>

- ・今後も社会情勢等を踏まえながら、現場のニーズに合致した内容の講座を実施する必要がある。

4 活動支援事業実施状況

(1) よりん彩活動支援事業補助金【公開講座】

鳥取県内で活動する団体等が自ら企画運営する男女共同参画を学習する講座の開催に対して、よりん彩が補助金を交付して支援した。

<対象講座> 団体構成員以外にも公開され、概ね50人以上の参加者を見込んだ講座

<補助金額> 1事業あたり12万円を上限とする

1	<p><開催日> 9月19日(土) 13:30~15:30</p> <p><会場> 琴浦町まなびタウンとうはく4階 [琴浦町]</p> <p><内容> 講演「このご時世! イライラ・怒りの対処術」 (講師) 稲田尚久さん</p> <p><主催> 琴浦町男女共同参画推進会議</p> <p><参加者数> 50人</p> <p><補助金額> 107,434円</p>
2	<p><開催日> 11月7日(土) 14:00~16:30</p> <p><会場> 日本財団まちなか拠点 in yonago [米子市]</p> <p><内容> 講演「オンライン講演会 学校カフェが地域をつなぐ」 (講師) 石井正宏さん、古林美香さん</p> <p><主催> いいへん</p> <p><参加者数> 54人</p> <p><補助金額> 93,737円</p>
3	<p><開催日> 11月27日(金) 18:00~20:00 12月4日(金) 18:00~20:00 12月6日(日) 15:00~17:00</p> <p><会場> 八頭町中央公民館 [八頭町]</p> <p><内容> 講演「月経講座~自分のこころとからだを感じてみよう~」 (講師) 三輪よし子さん</p> <p><主催> 認定NPO法人ハーモニカレッジ</p> <p><参加者数> 43人</p> <p><補助金額> 103,518円</p>

<考察等>

コロナ禍の影響で講座を開催することを心配された団体もあったが、感染予防対策を行った上で開催された。また、オンライン講演会を開催し、集まりにくい状況でも遠方の講師の話を聞くことが出来る工夫をしていただき時宜にかなった企画となった。

(2) よりん彩活動支援補助金【研修支援講座】

男女共同参画の推進に関する自主的な学びの企画を支援するため、自治会・事業所・PTA等の行う研修会や有志による学習会などの開催に対して、よりん彩が補助金を交付した。

<対象研修会> 参加者が概ね20人程度の研修会

<補助金額> 1事業あたり2万5千円を上限とする

1	<開催日> 7月31日(金) 18:30~20:30 <会場> 倉吉未来中心 セミナールーム1 [倉吉市] <内容> 講演「子どもの性被害～自分を大切にすることを考える～」 (講師) 原田 薫さん <主催> 子どもと女性のエンパワメントe・らぼ <参加者数> 15人 <補助金額> 25,000円
2	<開催日> 12月5日(土) 13:30~15:00 <会場> 大山公民館 [大山町] <内容> 講演「挑戦することの大切さ」 (講師) 大部由美さん <主催> 大山女性の会 <参加者数> 21人 <補助金額> 25,000円
3	<開催日> 12月12日(土) 10:30~12:30 <会場> 倉吉未来中心 セミナールーム7 [倉吉市] <内容> 講演「私の19年とジェンダー論」 (講師) 青木優奈さん <主催> レディースあすか鳥取 <参加者数> 18人 <補助金額> 22,450円

<考察等>

コロナ禍で巣ごもり状態が続く中、性被害、DVなど被害の深刻さが改めて浮き彫りになっている中、タイムリーな課題を考える良い機会となった。また、ジェンダー(社会的文化的性差)について、若い世代が講師となり、自身の考えを述べる講座では、次世代に向けた意識改革推進の重要性を改めて認識させられた。

<<年度別活動支援事業費補助金の交付件数>>

区分	H13 ～ H30	R1	R2	累計	平均
公開講座	205	5	3	213	10.7
研修支援講座	203	7	3	213	10.7
若者企画講座	22	—	—	22	1.1
調査研究等	4	1	—	5	0.3
合計	434	13	6	453	

(3) よりん彩学びのサロン

市町村職員が男女共同参画に関する理解を深め、担当業務に関する情報交換ができる県・市町村担当者のネットワーク構築の場として開催した。

● 第1回学びのサロン (※中止)

【内容】 講座

日時：令和2年8月19日(水) 11:00～15:00

場所：倉吉未来中心セミナールーム1

演題：コロナ禍におけるオンラインを活用した講座について
～公立鳥取環境大学のオンライン講座から学ぶ～

講師：常藤 智子さん(公立鳥取環境大学研究交流推進課)

※ 参加予定者 15名

【概要】

島根、鳥取両県の男女共同参画センター及び両県内の市町村男女共同参画センターの企画、運営力向上を図りセンター同士の連携を促進するため、毎年交替で当番県となり情報交換会等を実施している。令和2年度は鳥取県が当番県であったため、コロナ禍の情勢を踏まえ上記内容で開催する予定だったが、8月に入ってから県内東部、中部地域において新型コロナウイルス感染者が増加し、県内全域に「鳥取県版新型コロナ警報」が発令され、災害対策本部会議における8月開催予定の県主催イベントは原則延期、中止の決定を受け、8月5日に開催の中止を決定した。

○ 第2回学びのサロン

【内容】 市町村担当者との意見交換

日時：令和3年1月29日(金) 13:30～15:30

場所：倉吉未来中心セミナールーム4からリモート会議

議題：(1) 男女共同参画推進員(令和元年度第1号申出)にかかる意見公表について

(2) 令和3年度事業計画案について

(3) 鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画、第2次鳥取県女性活躍推進計画概要説明等(女性活躍推進課)

(4) 意見交換

参加者 17名(市町村9名、女性活躍推進課2名、よりん彩6名)

【概要】

男女共同参画推進員にかかる意見公表の概要及び審査結果を踏まえた県の対応を説明し、市町村での普及啓発の推進等について依頼した。また令和3年度事業計画案及び主な変更点を説明し、よりん彩事業の積極的活用や連携について依頼した。女性活躍推進課からは「鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画」、「第2次鳥取県女性活躍推進計画」について概要及びポイントについて説明するとともに、令和3年度作成予定の家事分担手帳について、市町村において配布することへの協力を依頼をした。

その後、事業の情報提供や意見交換を行ったが市町担当者からも様々な意見が出て、今後の業務を運営していく上で参考になった。

5 相談事業実施状況

(1) 相談事業の概要

性別による差別的取り扱い、その他男女共同参画社会の実現を阻害する要因となっている問題に対する相談に応じる。(鳥取県立倉吉未来中心の設置等に関する条例第2条第2項)

また、県民からの男女共同参画にかかる意見要望を聞き取る。(鳥取県男女共同参画推進条例第11条第2項)

相談に応じた各事例を十分に分析し、今後取り組む課題を整理して施策化等へ繋げる。

① 相談員の配置

一般相談員			専門相談員		
相談室	場所	相談員	内容	場所	相談員
センター相談室	倉吉未来中心内	2人	心の相談	各相談室	月4回 女性臨床心理士3人
東部相談室	県庁第2庁舎内	2人	男性相談	センター相談室	月1回 男性臨床心理士1人
西部相談室	米子コンベンションセンター内	2人	法律相談	法律相談センター内	各会場週1回 当番弁護士
オトコの相談日	倉吉未来中心内	3人	※H26.6新設 (男性相談者対象/男性相談員が対応)		

② 相談時間

相談室		相談日		
倉吉	センター相談室	一般相談	電話相談・面接相談 (要予約)	火曜日～日曜日 9:00～17:00 *月曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館 *面接相談は予約により19:00まで延長
		オトコの相談日 (電話・面接)		毎週土曜日 13:30～17:30 [0858-23-3955]
	TEL0858-23-3939	専門相談	心の相談 (面接、要予約)	月2回 (水曜日)
		男性相談 (面接・電話、要予約)	第1土曜日 15:00～18:00	
		法律相談 (面接、要予約)	毎週土曜日 9:30～12:00	
鳥取	東部相談室	一般相談	電話相談・面接相談 (要予約)	月曜日～金曜日 (祝日を除く) 9:00～12:00 / 13:00～17:00 *第3木曜日は休室
	TEL0857-26-7887	専門相談	心の相談 (面接、要予約)	月1回 (水曜日)
		法律相談 (面接、要予約)	毎週土曜日 9:30～12:00	
米子	西部相談室	一般相談	電話相談・面接相談 (要予約)	月曜日～金曜日 (祝日を除く) 9:00～12:00 / 13:00～17:00 *第3木曜日は休室
	TEL0859-33-3955	専門相談	心の相談 (面接、要予約)	月1回 (水曜日)
		法律相談 (面接、要予約)	毎週火曜日 13:30～16:00 毎週金曜日 10:30～12:30	

(2) 相談の種類別件数

①一般相談・オトコの相談

(単位：件)

主 訴	電話相談			面接相談			計		合計	割合	オトコの 相談日
	女性	男性	小計	女性	男性	小計	女性	男性			
1 生き方	50	44	94	13	0	13	63	44	107	5.8%	3
2 仕事上の問題	40	39	79	6	1	7	46	40	86	4.7%	3
3 夫婦関係の悩み (うちDV)	134	44	178	43	5	48	177	49	226	12.2%	6
4 家族・親族	2	1	3	0	0	0	2	1	3	0.2%	0
5 人間関係	131	26	157	12	3	15	143	29	172	9.3%	6
6 性・性的被害	151	50	201	13	0	13	164	50	214	11.6%	15
7 暮らし	2	1	3	2	1	3	4	2	6	0.3%	18
8 からだ	92	96	188	3	6	9	95	102	197	10.7%	4
9 心から	64	17	81	0	0	0	64	17	81	4.4%	7
10 その他	392	55	447	8	0	8	400	55	455	24.6%	33
合計	200	84	284	13	7	20	213	91	304	16.5%	12
割合 (%)	1,256	456	1,712	113	23	136	1,369	479	1,848		107
			92.6%			7.4%	74.1%	25.9%			

② 専門相談

(単位：件)

	女性	男性	合計	備 考
心の相談	74		74	毎週水曜日 一人60分程度
男性相談		16	16	第1土曜日 一人60分程度
法律相談	12	7	19	毎週土曜日(鳥取・倉吉)、毎週火・金曜日(米子) 一人30分程度
合計	86	23	109	

③ 相談室別集計

(単位：件)

	センター	東部	西部	合計	女性		男性	
					件数	割合	件数	割合
一般相談	967	601	280	1,848	1,369	74.1%	479	25.9%
オトコの相談	107			107			107	100.0%
専門相談	81	21	7	109	86	78.9%	23	21.1%
合計	1,155	622	287	2,064	1,455	70.5%	609	29.5%

(3) 相談内容の傾向

<相談全般>

対前年度比で、74件（3.7%）増となる2,064件の相談が寄せられた。（一般相談、専門相談及びオトコの相談ともに増加）

最も多い相談主訴は昨年度と同じく「こころ」で、ストレス社会の中、精神疾患等を抱えての苦しさ・生きづらさや将来への不安を訴える相談が多くなっており、継続相談（再来）になりやすい傾向が見受けられる。次いで、「夫婦関係の悩み」「人間関係」が多くなっている。

令和2年度の特徴として、新型コロナウイルスに関連する相談が数多く寄せられた。主な相談内容は、新型コロナウイルスに関連する不安（気持ちの落ち込み）・ストレス、新型コロナウイルスに関連する家族・夫婦関係、人間関係、仕事への影響などに関するものであった。

<一般相談・オトコの相談>

一般相談・オトコの相談について、合計相談件数は昨年度に比べ約3%増加した。なお、一般相談における男性からの相談割合は25.9%と昨年度に比べわずかに減少した一方、オトコの相談の相談件数は昨年度に比べ約4.7%増と大幅に増加した。

一般相談における最も多い相談主訴は「こころ」であり、近年同様の傾向が続いている。

<専門相談>

専門相談（心の相談、男性相談及び法律相談）について、合計相談件数は昨年度に比べ約1.1%増加した。

心の相談における最も多い相談主訴は「家族・親族」であり、年代別では50代からの相談が最も多かった。男性相談における最も多い相談主訴も「家族・親族」であり、年代別では30代・40代からの相談が最も多かった。法律相談における最も多い相談主訴は「夫婦関係」であった。

《一般相談の主訴 上位5位の推移》

(単位：%)

順位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	主訴	割合	主訴	割合	主訴	割合	主訴	割合
1	こころ	21.5	こころ	33.5	こころ	27.6	こころ	24.6
2	家族・親族	14.6	夫婦関係	13.0	家族・親族	12.4	夫婦関係	12.2
3	夫婦関係	14.3	家族・親族	11.6	夫婦関係	10.4	人間関係	11.6
4	人間関係	7.7	人間関係	9.3	人間関係	9.5	暮らし	10.7
5	仕事	5.8	仕事	6.2	暮らし	8.1	家族・親族	9.3

《一般相談の年次推移》

(単位：件)

主訴	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
1 生き方	210	113	113	38	57	36	72	107
2 仕事上の問題	204	101	59	68	88	106	70	86
3 夫婦関係	288	274	288	264	241	239	190	226
(うちDV)	(21)	(22)	(27)	(2)	(14)	(18)	(12)	(3)
4 家族・親族	311	282	266	231	221	197	225	172
5 人間関係	197	215	230	150	117	159	173	214
6 性・性的被害	75	17	22	12	18	7	13	6
7 暮らし	169	134	91	70	74	48	147	197
8 からだ	33	29	28	36	14	20	81	81
9 こころ	465	487	299	329	326	571	502	455
10 その他	441	467	517	357	367	319	346	304
合計	2,393	2,119	1,913	1,555	1,523	1,702	1,819	1,848

《心の相談》

(単位：件)

区 分		件数	割合
主 訴	生き方	10	13.5%
	仕事上の問題	2	2.7%
	夫婦関係	15	20.3%
	家族・親族	25	33.8%
	人間関係	6	8.1%
	性・性的被害	1	1.4%
	暮らし	1	1.4%
	こころ	14	18.9%
	合 計	74	100.0%
年 代	10代	0	0.0%
	20代	4	5.4%
	30代	15	20.3%
	40代	23	31.1%
	50代	27	36.5%
	60代	0	0.0%
	70代以上	0	0.0%
	不明	5	6.8%

《男性相談》

(単位：件)

区 分		件数	割合
主 訴	生き方	4	25.0%
	仕事上の問題	0	0.0%
	夫婦関係	2	12.5%
	家族・親族	8	50.0%
	人間関係	1	6.3%
	性・性的被害	0	0.0%
	暮らし	0	0.0%
	こころ	1	6.3%
	合 計	16	100.0%
年 代	10代	0	0.0%
	20代	0	0.0%
	30代	7	43.8%
	40代	7	43.8%
	50代	1	6.3%
	60代	1	6.3%
	70代以上	0	0.0%
	不明	0	0.0%

《法律相談》

(単位：件)

区 分		件数	割合
主 訴	夫婦関係	17	89.5%
	仕事上の問題	1	5.3%
	家族・親族	1	5.3%
	合 計	19	100.0%
年 代	法律相談センターで行っているため、把握していない。		

6 情報収集・提供事業実施状況

(1) 情報資料室（ライブラリー）

よりん彩情報資料室では、男女共同参画社会づくりの推進に必要な情報提供を行うために、資料(図書・行政資料・雑誌・映像資料等)を収集し、貸し出しを行っている。

(ア) 特徴

- ・男女共同参画に関する基本的な資料を収集している。また、男女共同参画はあらゆる分野に関わるため、「家族」「子育て」「教育」「高齢者」「労働」「健康」「地域づくり」など、幅広い分野の資料を収集している。
- ・男女共同参画に関する計画、調査、研究、報告などの行政資料を収集し、登録して貸し出しを行っている。
- ・センター内での「企画展示」、関連講座での「出前貸出」、学校やグループなどへの「団体貸出」を行っている。
- ・資料は、センターホームページや「鳥取県図書館横断検索」で検索できる。
- ・県内公共図書館を窓口し、センター資料の貸し出しと返却を行っている。
- ・男女共同参画に関するデータ、学習に使用する資料、研修会講師などの相談に応じる「情報相談」を行っている。

(イ) 令和2年度の主な取組

- ・時期に合った企画展示を計画的に実施し、男女共同参画に関する著書を幅広く知ってもらうよう取り組んだ。
 - ・遠方からの参加者にも広く情報提供を行い、新規登録者の拡大を目指した。
 - ・心の健康に関する正しい知識を知っていただくため、今年度も鳥取県中部総合事務所福祉保健局と連携し、自殺予防に関する図書や啓発パネルを展示。来館者のみなさんに広く紹介した。
 - ・「小鴨シニアクラブ協議会」と連携し、大切な人に手紙やハガキを書く「ハガキ出し運動」の展示を行い、来館者に関連本や資料を紹介した。
 - ・団体貸出制度により、人権学習や保健学習など学校や各市町村図書館の学習を支援。
 - ・男女共同参画に関する啓発パネルを事業主催者等に貸し出し、多くの参加者に意識を高めてもらえるよう取り組んだ。
- 登録団体は、令和3年3月末で56団体。

	タイトル
1	2019年度よりん彩情報ライブラリー貸出しベスト5
2	暮らしをもっと楽しむための家事シェア
3	令和2年度 男女共同参画週間
4	大切な人に手紙やハガキを書こう！「ハガキ出し運動」
5	令和2年度 自殺予防週間キャンペーン パネル展
6	防災における男女共同参画
7	女性に対する暴力をなくす運動
8	人権問題に対する正しい知識を
9	外国人の人権
10	令和2年度 自殺予防月間キャンペーン パネル展
11	国際女性デー

【企画展示の一例】



(ウ) 蔵書の状況

区分	令和2年度3月末(点)	増減	令和元年度3月末(点)	比率(%)	
図書	13,793	245	13,548	83.4	
内訳	一般	9,478	163	9,315	57.3
	児童	1,338	20	1,318	8.1
	郷土	1,430	45	1,385	8.6
	行政	1,547	17	1,530	9.4
雑誌	2,246	41	2,205	13.6	
映像資料	501	6	495	3.0	
合計	16,540	292	16,248	100	

(エ) 年度別利用統計

年度	登録者数(人)		蔵書数(点)		貸出数(点)	内訳(点)			情報相談件数(件)
	新規	累計	増加	累計		個人	団体	相貸	
13	311	311	4,131	4,131	1,957	1,957	—	—	—
14	193	504	717	4,848	2,756	1,948	808	—	37
15	146	650	863	5,711	2,784	1,728	1,056	—	85
16	151	801	1,179	6,890	2,453	1,617	836	—	78
17	177	978	802	7,692	2,773	2,121	652	—	69
18	151	1,129	811	8,503	2,836	1,870	966	—	69
19	161	1,290	803	9,306	3,042	1,882	1,160	—	80
20	292	1,582	61	9,367	3,832	2,810	1,014	8	69
21	255	1,837	2,615	11,982	5,386	4,152	1,191	43	175
22	241	2,078	702	12,684	5,577	3,851	1,683	43	273
23	274	2,352	699	13,383	7,002	5,215	1,644	143	336
24	209	2,561	642	14,025	6,273	4,657	1,425	191	303
25	161	2,722	346	14,371	4,834	3,689	1,075	70	200
26	138	2,860	406	14,777	5,190	3,386	1,722	82	238
27	122	2,967	286	15,063	5,242	3,717	1,419	106	179
28	70	3,052	234	15,297	2,304	1,717	540	47	125
29	92	3,144	336	15,633	2,240	1,906	272	62	104
30	65	3,209	256	15,889	1,923	1,674	230	19	116
R1	62	3,271	359	16,248	2,361	1,828	512	21	89
R2	45	3,316	292	16,540	2,324	1,898	356	70	38
合計	3,316	—	16,540	—	73,089	53,623	18,561	905	2,663

* 13年度はシステムが整備されておらず貸出の内訳が不明。平成21年度に行政資料1800冊を一括登録。

* 県内公共図書館間の相互貸借(相貸)は20年度10月より開始。

(オ) 貸し出し上位資料

① 図書

順位	書名	著者名	発行所	回数
1	やっぱり、それでいい。 人の話を聞くストレスが自分の癒しに変わる方法	細野 貂々 水島 広子	創元社	13
2	コウケンテツのおやこ食堂	コウケンテツ	白泉社	11
3	休日が楽しみになる昼ごはん	谷 綾子	文響社	10
4	トヨタ式超ラク家事	香村 薫	実務教育出版	9

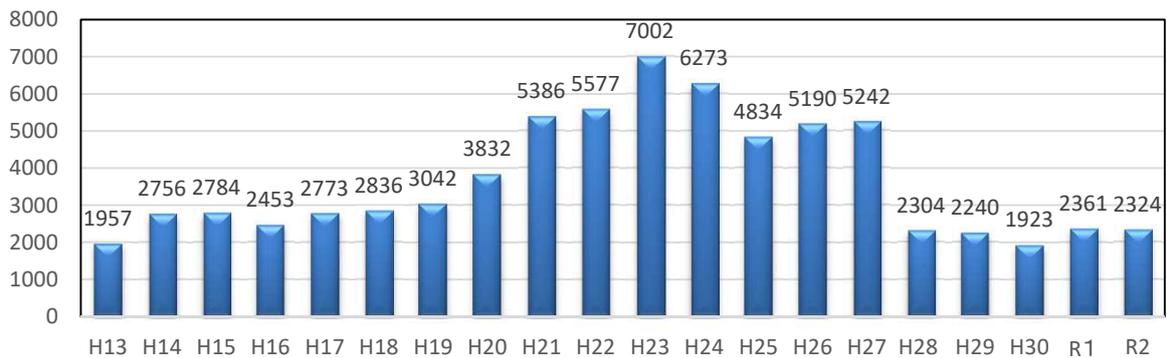
②DVD・ビデオ

順位	書名	発行所	回数
1	職場の人権	東映株式会社	4
2	映像で学ぶ ジェンダー入門 第3巻	サン・エディケーショナル出版	3
3	ハラスメント・しない、させないための双方向コミュニケーション	東映株式会社	3
4	デートDV講座 素敵に大人になるために	愛知人権ファンクション委員会	3
5	STOP!デートDV	(株)ドラコ	3

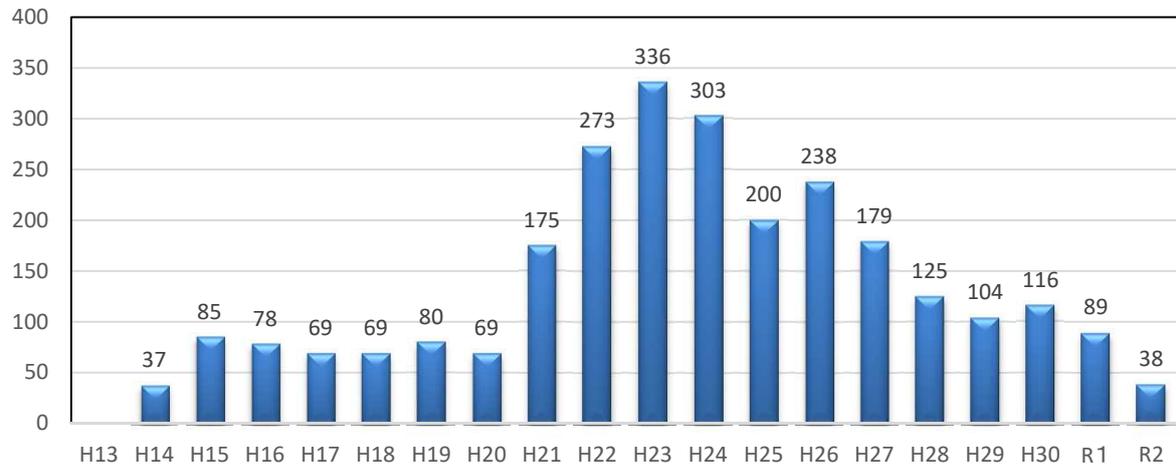
(カ) 成果

- ・企画展示を計画的に実施することで、男女共同参画に関する図書が手に取りやすく、わかりやすいレイアウトになった。
- ・連携展示を行い、男女共同参画に関する著書を幅広く知ってもらうことができた。
- ・新たに作成した啓発パネルを市町村関係機関などに貸出し、人権週間や男女共同参画週間などに活用され多く利用された。
- ・各教育機関、市町村関係機関、市町村図書館などに効果的なPR等で働きかけることが課題である。

年度別貸出点数



年度別情報相談件数



(2) 普及啓発パネルの貸出

市町村、団体、企業等が実施する講演、セミナー等の事業において、男女共同参画に関する啓発資料を広く参加者等に見てもらい意識を高めるために、パネル形式の資料セットを作成して事業の主催者等に貸し出しを行う。

① 令和元年度の貸出実績

区 分	件数	利用枚数[合計] (枚)
県内公共図書館	0	0
市町村関係機関	6	81
そ の 他	1	31
合 計	7	112

② 男女共同参画普及啓発パネル一覧

【A】

番号	タイトル
1	あなたもジェンダーチェックしてみませんか
2	「男女共同参画社会基本法」って何？
3	男女共同参画基本法の仕組み(体系図)
4	男女共同参画社会基本法の基本理念(その1)
5	男女共同参画社会基本法の基本理念(その1-2)
6	男女共同参画社会基本法の基本理念(その2)
7	男女共同参画社会基本法の基本理念(その3)
8	男女共同参画社会基本法の基本理念(その4)
9	男女共同参画社会基本法の基本理念(その5)
10	「ドメスティック・バイオレンス」とは？
11	鳥取県男女共同参画センターよりん彩相談室利用案内
12	男女共同参画に関する苦情・不服は、男女共同参画推進員へ
13	ジェンダーすごろく
14	ジェンダーチェック2(その1)
15	ジェンダーチェック2(その2)
16	ドメスティック・バイオレンス ～ 一人で悩まず相談を ①
17	ドメスティック・バイオレンス ～ 一人で悩まず相談を ②
18	ドメスティック・バイオレンス ～ 一人で悩まず相談を ③
19	男女の地位の平等感(過去の調査との比較・全体)
20	家庭の仕事の分担に係る満足度(全体・性別)
21	「男女共同参画」に関する用語の認知度(全3枚)
22	とっとりSDGs宣言
23	新型コロナウイルス感染拡大により表面化した課題の対応(全2枚)

【B】

番号	タイトル
1	みんなで考えよう 男女共同参画①(4コマ漫画)
2	みんなで考えよう 男女共同参画②(4コマ漫画)
3	みんなで考えよう 男女共同参画③(4コマ漫画)
4	みんなで考えよう 男女共同参画④(4コマ漫画)
5	みんなで考えよう 男女共同参画⑤(4コマ漫画)
6	みんなで考えよう 男女共同参画⑥(4コマ漫画)
7	そっだ！学んでみようや～！男女共同参画学校(4コマ漫画)
8	いつまでお世話係？/一緒に子育てしたいのに！(4コマ漫画)
9	町内会みんなでやれば怖くない！/非常事態！あなたはどうする(4コマ漫画)
10	第4次鳥取県男女共同参画計画(概要版)
11	基本テーマA 男女がともに活躍できる環境づくり ①働く場における女性の活躍推進
12	基本テーマA 男女がともに活躍できる環境づくり ②地域・社会活動における女性の活躍推進
13	基本テーマB 安全・安心に暮らせる社会づくり ③生涯を通じた男女の健康支援
14	基本テーマB 安全・安心に暮らせる社会づくり ④誰もが安心して暮らせる環境整備
15	基本テーマB 安全・安心に暮らせる社会づくり ⑤男女間におけるあらゆる暴力の根絶
16	基本テーマC 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり ⑥男女共同参画の理解促進と未来の人材育成

【C】

番号	タイトル
1	男女共同参画クイズパネルセット 平成29年度版(全10問)
2	男女共同参画クイズパネルセット 平成30年度版(全10問)

【全国女性の参画マップ・令和元年度版】

番号	タイトル
1	・都道府県議会議員に占める女性の割合 ・市議会議員に占める女性の割合(都道府県別)
2	・町議会議員に占める女性の割合(都道府県別) ・女性議員ゼロの市町村議会の割合
3	・都道府県の地方公務員採用試験(大卒程度)からの採用者に占める女性の割合 ・都道府県の地方公務員管理職に占める女性の割合
4	・都道府県の審議会等委員に占める女性の割合 ・市区町村の審議会等委員に占める女性の割合(都道府県別)
5	・自治会長に占める女性の割合(都道府県別) ・都道府県防災会議の委員に占める女性の割合

(4) よりん彩ネット会員への情報提供

男女共同参画に関する活動を行ったり行おうとする個人及び団体がよりん彩ネット会員に登録することで、各種事業の情報や団体等相互の交流の場の設定など活動促進につながる情報を提供した。

- ① 会員数 222 (令和2年度末現在)
 団体：123 個人：99 (他にメルマガ会員(外数)：107)
- ② 支援内容
 - ・セミナー等事業の案内
 - ・広報紙の送付

※平成21年10月より、希望者によりん彩ネット【電子メール情報】の発行開始。
 年度末までに141号配信。

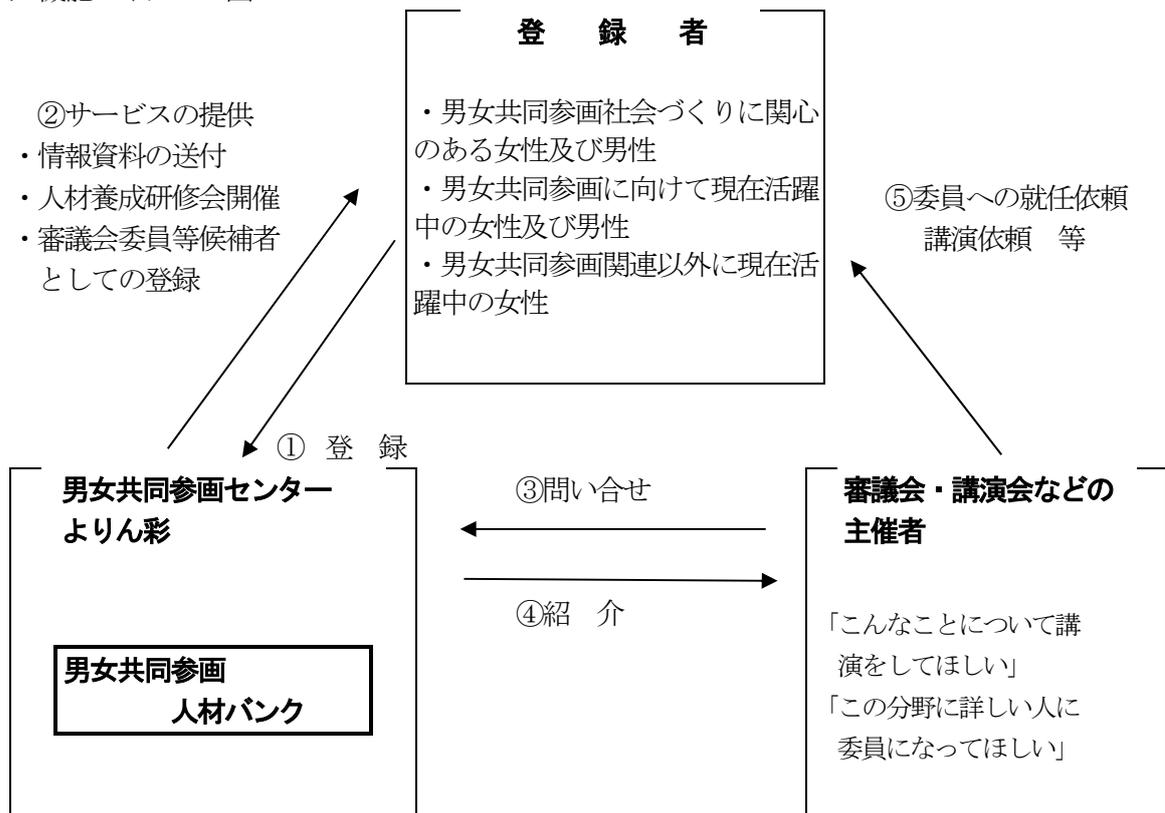
(5) 男女共同参画人材バンク

男女共同参画に関する人材の養成、女性の登用促進などを推進することを目的として、「こんなことについて講演してほしい」とか「この分野に詳しい方に委員になってほしい」と考えている講演会の主催者や審議会の担当者に人材を紹介するために、人材を掘り起こしてよりん彩の人材バンクに登録を行った。

- ◆ 登録者数 (令和2年度末現在) 91人
 <年度別登録者数>

H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
152	154	156	163	167	171	174	92	91	94	95	106	110	114	118	92	98
H30	R1	R2														
100	90	91														

- ◆ 機能のイメージ図



7 事務局関係

(1) 男女共同参画センター運営協議会

① 開催状況

(ア) 令和2年7月8日(水)

[主な内容]

- ・委託事業選定部会委員の選出
- ・令和元年度事業実績について
- ・令和2年度事業計画について

(イ) 令和3年3月11日(木)

[主な内容]

- ・令和2年度事業実施状況について
- ・令和3年度事業計画について

② 運営協議会委員

(令和3年3月現在)

	氏名	所属等
会長	岡 研 司	公益社団法人鳥取県人権文化センター 専任研究員
副会長	岸 本 正 枝	男女共同参画推進員会議とっとり会長
委員	池 田 直 子	鳥取中央育英高等学校PTA副会長
	石 賀 裕 美	公募委員
	伊 藤 徹	サンイン技術コンサルタント株式会社鳥取支店 技術顧問
	上 村 秀 樹	米子市男女共同参画推進課 主幹
	大 塚 智 子	米子市永江自治会 前会長
	新 和 賢	境港市立第二中学校PTA会長
	根 鈴 啓 一	(株)花工房あげたけ取締役
	平 野 裕 美	鳥取看護大学看護学部看護学科助教
	廣 谷 静 枝	音訳ボランティアグループ「ありんこ」代表
	山 内 倫 代	鳥取市男女共同参画課主任兼鳥取市男女共同参画センター主任
	山 崎 昌 子	倉吉市人権政策課男女共同参画担当
山 下 弘 彦	日野ボランティアネットワーク	
吉 野 勇 雄	公募委員	

(2) 鳥取県男女共同参画推進員

① 鳥取県男女共同参画推進員名簿（五十音順）

氏 名	職 業 等
一 盛 真（いちもり まこと）	大学教授
北 野 彬 子（きたの あきこ）	弁護士
高 力 英 明（こうりき ひであき）	会社員
谷 本 恵 美（たにもと めぐみ）	個人事業主

（任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日）

（北野彬子推進員は令和2年4月1日～令和4年3月31日）

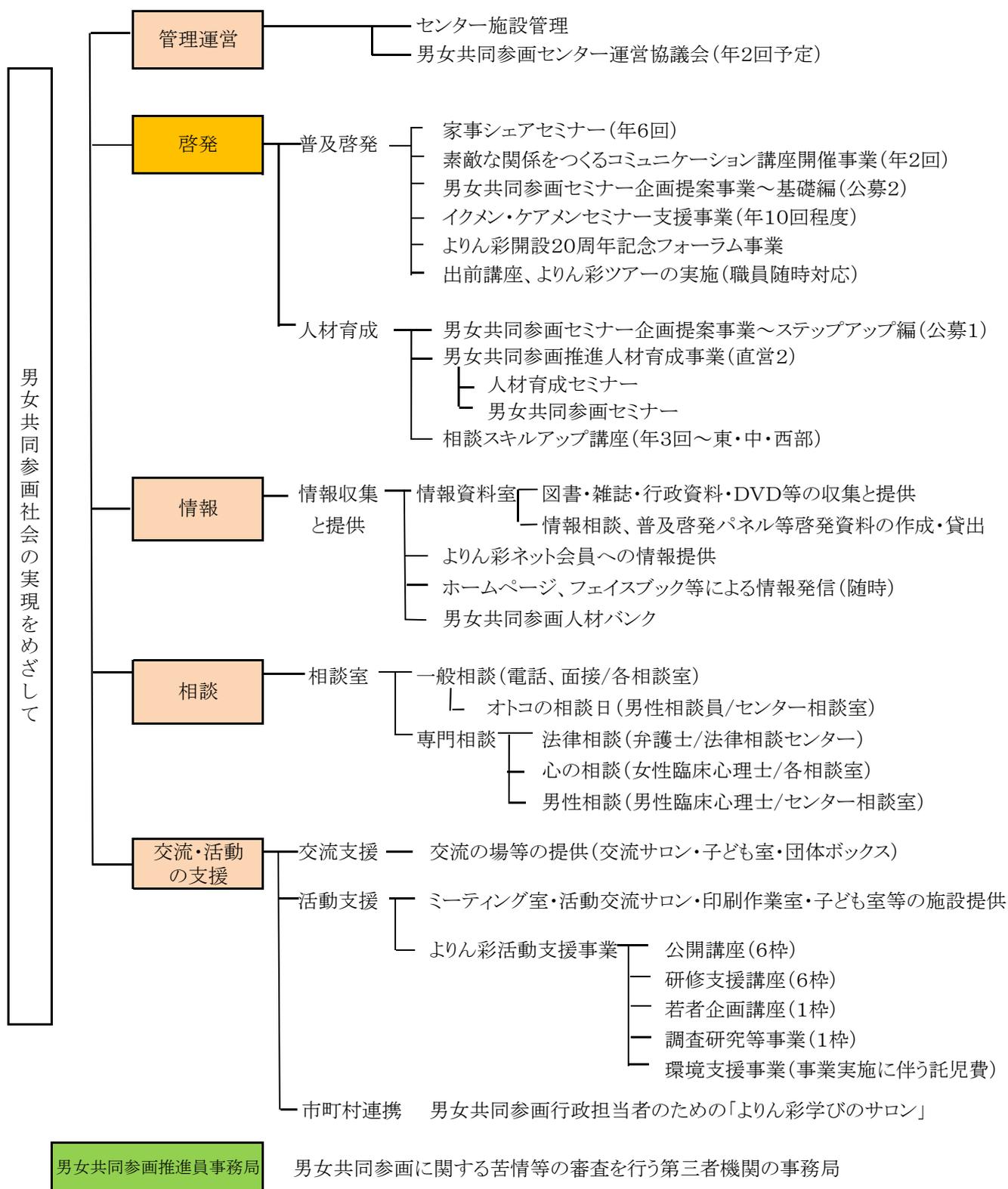
② 申出処理件数

（令和3年3月31日現在）

区 分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
処 理 件 数	前年度繰越	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
	新規申出	1	1	3	0	3	0	0	0	0	1	0
	合計	2	1	3	0	3	2	0	0	0	1	1
	次年度への繰越	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
審 査 結 果	勧告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	意見公表（助言）	2	1	2	0	1	2	0	0	0	0	1
	棄却	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	却下	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	2	1	3	0	1	2	0	0	0	0	0
	審査中	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0

※審査結果件数： 申出の一部を勧告又は意見公表とし、一部を棄却又は却下とした事案は、勧告又は意見公表の区分に計上した。

<参考> 令和3年度よりん彩事業体系



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による対応状況

年月	対応状況
令和2年 2, 3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染防止のため窓口・相談対応職員のマスク着用開始 ○ 閲覧学習コーナーの椅子の設置数を減らし3密を避ける配置に変更 ○ 出入口に消毒液設置
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7日の7都道府県緊急事態宣言を受け、ミーティング室・印刷室の利用中止を決定 職員による1日2回の消毒開始（ドアノブ、共有机等） ○ 新型コロナウイルス県内発生を受け、11日から当面の間子ども室の利用中止と開館時間の短縮（18時まで）を決定 ○ 13日から面接相談の当面休止（心の相談も電話による対応に切り替え） ○ 16日の全国緊急事態宣言発令を受け、4/22～5/6までよりん彩休館を決定（電話相談は実施、職員は出勤） ○ 21日よりん彩記念日フォーラム実行委員会において、6/27に開催予定としていた「よりん彩記念日フォーラム2020」の開催中止を決定
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8日から交流サロン、情報相談室、印刷室の利用を再開、16日からミーティング室、子ども室の利用（19時まで）、面接相談を再開
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ センター直営の講座やセミナーを非接触型体温計による検温、講師・参加者のマスク着用など感染拡大防止に配慮して開催
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内東部、中部地域において新型コロナウイルス感染者が増加し、県内全域に「鳥取県版新型コロナ警報」が発令され、災害対策本部会議にて8月開催予定の県主催イベントは原則延期、中止の決定の方針を受け、夏休みこども企画、島根・鳥取男女センター情報交流会、相談スキルアップ講座（鳥取会場）の開催中止を決定
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ よりん彩公開講座をオンラインで開催 ○ 男女共同参画推進人材育成協働事業委託事業（公募）をオンラインで開催
令和3年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内新型コロナ中部地区警報発令に伴い、子ども室前にも消毒液を設置 ○ 学びのサロンをオンラインで開催